

**ロボットカ 九州佐賀国際空港** 佐賀県佐賀市

# 空港の観光コンシェルジュは 人型ロボットPepper

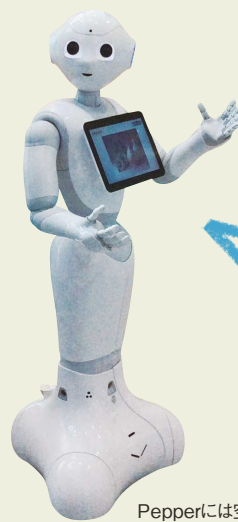
九州の玄関口として期待を寄せられている九州佐賀国際空港で、人型ロボットPepperが佐賀観光のナビゲートをしていた！



1 背景の巨大な絵は、佐賀県出身アーティスト・ミヤザキケンスケ氏と佐賀県や周辺県の子供100名以上が共同で作成。「世界を繋ぐ絵を描こう」と題したワークショップで制作された。2 1988年に開港し、今年1月16日に愛称が「九州佐賀国際空港」となった。

今春、所用で福岡、長崎、佐賀を巡った。旅程を考慮し、福岡空港にインして、北部九州のほぼ中央に位置する佐賀空港からアウトしようと思った。

旅の最終日、JR武雄温泉駅から特急に乗って佐賀駅へ。駅のバスセンターから空港行きのアクセスバスに乗車したところ、驚いたのはフリーWiFi



佐賀のグルメ  
といえば  
佐賀牛〜!

Pepperには空港1階の観光案内所で会えます。撮影:keiko

が使えることだ。今や空港で無料のWiFiサービスは珍しくないが、リムジンバスなど空港発着バスへの導入は少ない。しかも、メールアドレスを登録する手間もなし。快適。さすがテレワークをいち早く県庁に導入した、一歩先ゆく佐賀だ。iPadをサクサク使った後は車窓から見える美しい水田風景に心癒され、今年1月より新愛称が「九州佐賀国際空港」となった佐賀空港へ。

受付開始からたった1分で1000台を完売した、人の感情を認識するロボットだ。空港で遭遇したPepperは「佐賀空港コンシェルジュ」として勤務中だった。今年から佐賀空港で働いている彼は、空港の施設やお土産品をはじめ、嬉野(うれしの)温泉、佐賀牛、有田焼といった佐賀県の観光地や名産物(品)を紹介している。佐賀牛の説明をする時など「本当に美味しいですよ。僕も大好き。食べられませんげごね」とさりげなく笑いを誘う。ソフトを開発する際、お子様から大人まで親しみやすい口調を、コミカルで親しみやすい口調を心がけたという。



有田焼を紹介するPepper  
撮影:keiko

そんな背景から、コンシェルジュのPepperは今後、多言語での展開や路線就航地の紹介などを担う予定もある。佐賀県地域交流部空港課の山口敦子さんは「今後もみなさまに可愛がっていただき、また、佐賀の情報を全国に、そして全世界に発信していきたいように、Pepperのさらなる活躍を期待しています！」と職場の「同僚」にエールをおくる。(御田けいこ)